11月 給食だより

令和８年度１１月号
調布市立第五中学校

11月24日は和食の日、11月は和食月間です！

私たち日本人の伝統的な食文化である「和食」は、2013年にユネスコ無形文化遺産に登録されました。無形文化遺産は、遺跡や自然などが登録される世界遺産とは異なり、土地の歴史や生活風習と深く関わる伝統や行事など、目に見えない文化を対象としています。食文化では「和食」のほかに「伝統的酒造り」が2024年に登録されました。毎年11月24日は和食文化国民会議が定める「和食の日」、そして、11月は農林水産省が「和食月間」と位置付けています。学校給食では、ご飯を中心に、だしのうま味を生かした汁物や旬の食材を使った料理を取り入れるのはもちろん、年間を通して行事食や郷土料理を提供し、「和食」文化に触れる機会を大切にしています。

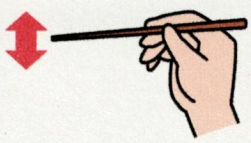
はしを上手に使って、きれいに食べよう

正しいはしの持ち方を確認してみましょう。

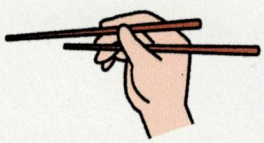
①１本のはしを、えんぴつを持つように、親指・人差し指・中指で持つ。



②「1」の字を書くように、たてに動かす。



③親指の付け根から、もう1本のはしを通し、薬指で支える。



④上のはしだけを動かして、はし先を開いたりとじたりする。



はしを上手に使えると、食べ物をこぼしたりせず、きれいに食べることができます。
毎日の食事で使い方を練習していきましょう。

～水木マンガの生まれた街　調布～

「ゲゲゲの鬼太郎」の作者である漫画家・水木しげるさんは調布市の名誉市民です。
鳥取県境港市で育ち，昭和34年から93歳で亡くなるまでの56年間を調布市で過ごしました。
調布駅～西調布駅間に開園した「鬼太郎ひろば」が市民の憩いの場となっているほか，市内を走るミニバスやマンホールにも，鬼太郎とその仲間たちが描かれています。アニメに登場した調布市内のスポットを巡って楽しんでもらうための聖地巡礼マップも発行されています。調布市では，水木しげるさんの功績を称え命日である11月30日を「ゲゲゲ忌」とし，様々な催しが行われています。
そこで，給食でも「ゲゲゲ忌」にちなみ，11月２６日の給食にぬりかべトーストを出します。

～お知らせ～

11月5日（木）：２年生は音楽鑑賞教室のため給食はありません。
11月１１日（水）・１２日（木）：全学年期末テストのため給食はありません。
11月１７日（火）：２年生は英語校外学習のため給食はありません。
11月２４日（火）：調理校の布田小学校がお休みのため給食はありません。お弁当を持ってきてください。